

第 25-018 号  
2025 年 12 月 18 日

# 特別回報

外航組合員各位

## 2026 保険年度の国際 P&I グループ再保険プログラムについて

2026 保険年度の国際 P&I グループ (IG) 再保険プログラムが決定しましたのでご案内申し上げます。

### 1. 再保険スキーム

2026 保険年度の IG 再保険プログラムのスキームは、以下のとおりです。

- クラブ保有額 : 1 千万米ドル
- グループ保有額 : 1 千万米ドルを超える 9 千万米ドル
- General Excess of Loss : 1 億米ドルを超える 22.5 億米ドル
- Collective Overspill : 23.5 億米ドルを超える 10 億米ドル

2025 保険年度からの変更点として、GXL Layer 3 の限度額が 2.5 億米ドル増額し、それに応じて Collective Overspill カバーの発動点も 23.5 億米ドルに引き上りました。

詳細につきましては、添付のダイアグラムをご覧ください。

### 2. てん補限度額

次の損害に対する 2026 保険年度のてん補限度額は、以下のとおりです（2025 保険年度から変更はありません）。

- 油濁損害 : 10 億米ドル
- 船客と船員との複合損害 : 30 億米ドル
- 船客の単体損害 : 20 億米ドル

### 3. Excess War P&I 再保険

継続するロシア・ウクライナ戦争により、IG の Excess War 再保険者は、ロシア・ウクライナ・ベラルーシ周辺の海域を航行する船舶に関するてん補除外（除外地域は、P&I 戦争保険の再保険者が適用しているものと同一）を継続したため、IG は、当該除外地域について、別途 1.25 億米ドルを上限とするカバーを購入しました（2025 保険年度の 1 億米ドルから増額しました）。

### 4. 船種別 IG 再保険料率

IG の再保険委員会が検討した結果、現行の 5 つの船種カテゴリーは変更せず、各船種カテゴリーのクレーム実績を踏まえて、再保険料率を調整することとしました。

2026 保険年度の船種別 IG 再保険料率は、以下のとおりです。

船種カテゴリー	2026 保険年度料率 (US\$/GT)	対前年比増減率 (%)
Persistent oil tankers	0.5758	-8.0
Clean tankers	0.4337	0
Dry cargo vessels	0.5751	-5.0
Fully Cellular Container vessels	1.0237	+15.0
Passenger vessels	3.1472	-8.5

## 5. 更改経緯

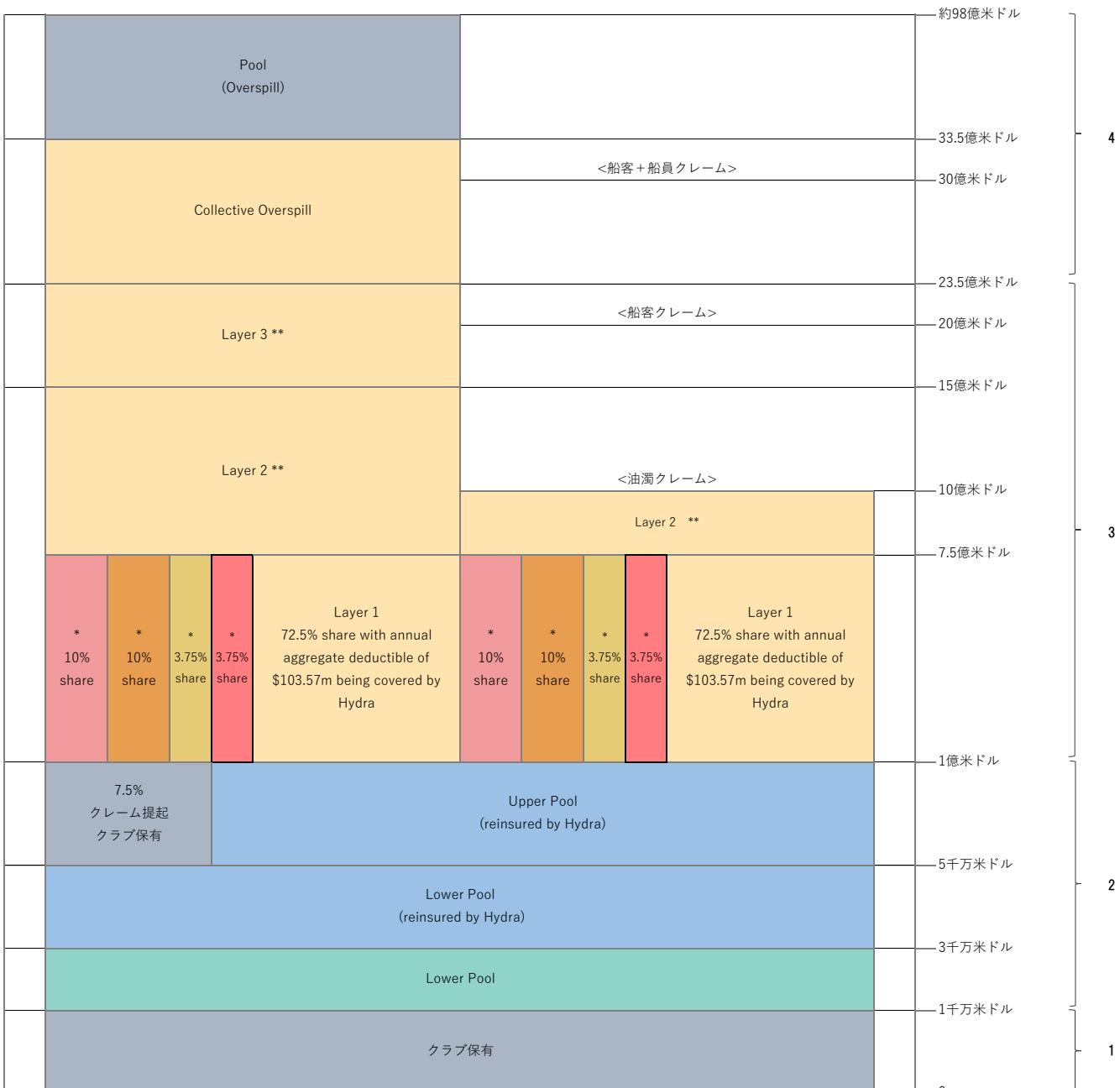
2024 および 2025 保険年度のプールクレームは、2019～2021 保険年度と同程度の水準にまで高額化しているものの、IG 再保険のリーダーである Axa XL およびその他の再保険者との長期的な関係に基づく支援により、上述の更改に至ることができました。

詳細につきましては、IG のプレスリリースをご覧ください。

以上

添付資料：2026 保険年度 IG 再保険プログラム

## IG再保険プログラム（2026保険年度）



1. 1千万米ドルまで  
クラブ保有と称し、各クラブの自己負担。

2. 1千万米ドルから1億米ドルまで  
プールと称し、IG加盟クラブが各々の分担率に基づき分担。  
プール部分のうち、3千万米ドルから1億米ドルまでは、Hydra(IGクラブが出資して設立した自家保険会社)に出再。

3. 1億米ドルから23.5億米ドルまで  
Lloyd'sを中心とする再保険マーケットで再保険を購入。  
(\*は、Private Placementと呼ばれる複数年契約定額再保険)  
Layer 1からLayer 3に分かれており、各Layerごとに参加している再保険会社が異なる。  
Layer 1: 1億米ドルから7.5億米ドルまで。  
Layer 2: 7.5億米ドルから15億米ドルまで。  
Layer 3: 15億米ドルから23.5億米ドルまで。

\*\* 悪意のあるサイバー攻撃に起因する損害と新型コロナウイルス感染症・その他の感染症に起因する損害については、  
それぞれ合計16億米ドルの年間累積回収限度額が設定されている。  
Layer 2: 年間累積回収限度額:7.5億米ドル（油濁クレームは1事故あたり最大2.5億米ドル）  
Layer 3: 年間累積回収限度額:8.5億米ドル

4. 23.5億米ドルから約98億米ドルまで  
オーバースpillと称し、IG全クラブのメンバーに請求する分担金（オーバースpill保険料）により賄う。  
なお、オーバースpillのうち、23.5億米ドルから33.5億米ドルまでは、マーケットで購入している再保険で賄われる。

なお、油濁損害は10億米ドル、船客の損害は20億米ドル、船客と船員との複合損害については30億米ドルの上限が設定されている。